



アドバンテッジ pdCa 個人結果の見方

従業員向け

Document Ver. 1.0

Confidential

改定履歴

Ver.	発行日	項目
1.0	2025/2/14	初版を公開しました。

レポートへの遷移方法

- 1. [レポート画面への遷移方法](#) 4
-

レポート

- 2. [調査結果の種類](#) 8
-

- 3. [偏差値で結果を見るレポート](#) 9
-

- 3-1. [良好因子、重要な課題・変化](#) 10
-

- 3-2. [因子の結果詳細](#) 11
-

- 4. [回答内容を見るレポート](#) 14
-

1. レポート画面への遷移方法

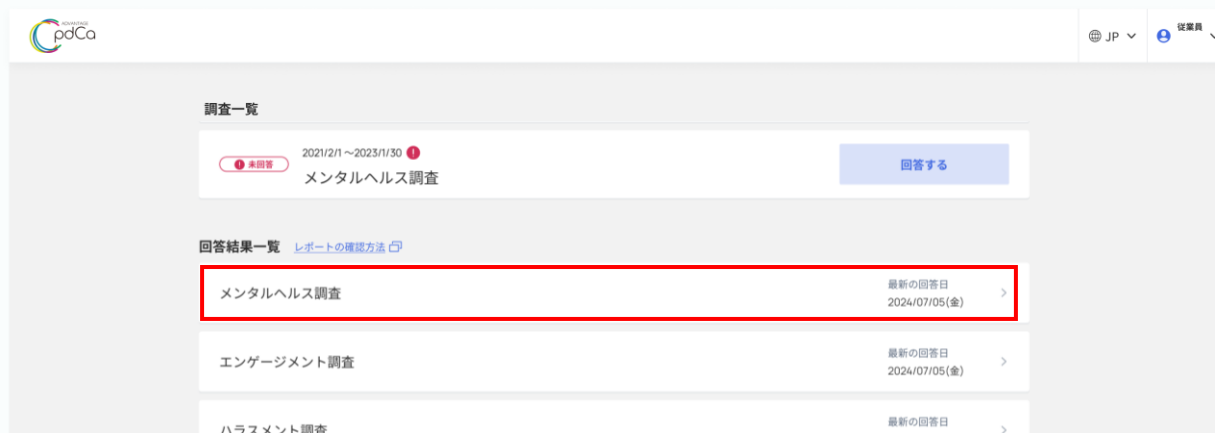
1-1. レポート画面への遷移方法

- 1 ユーザー画面へログインします。
<https://pdca.armg-survey.com/#/login>



- 2 ホーム画面「回答結果一覧」で、結果を閲覧したい調査をクリックします。

※調査の回答完了後に、回答結果を確認することができます。



1-2. レポート画面への遷移方法

3

レポート画面が表示されます。

The screenshot shows the 'Mental Health Survey' report for 'Demo Employee 46'. It includes a navigation bar with the pdCa logo, a language dropdown set to 'JP', and a user dropdown for 'Demo Employee 46 (user046)'. The main content area features a title 'メンタルヘルス調査' and a sub-title 'デモ従業員46'. A '印刷' (Print) button is located in the top right. Below the title, there is a section for '実施回' (Implementation) with a dropdown menu showing '2回目 2024/12/13 ~ 2024/12/13'. The report is divided into three main categories: '良好因子' (Good factors), '重要な課題' (Important issues), and '重要な変化' (Important changes). Under '良好因子', there is a box for '偏差値60以上' (Deviation score 60 or above) with a value of '-'. Under '重要な課題', there is a box for '偏差値40未満' (Deviation score below 40) with a value of '9因子' (9 factors). Under '重要な変化', there are two boxes: '改善した' (Improved) with '10因子' (10 factors) and '悪化した' (Worsened) with '10因子' (10 factors). Below these categories, there is a '因子' (Factors) section with a legend for deviation scores and a table for comparison between the 1st and 2nd surveys. The table shows scores for 'ストレス反応 (★)', '仕事の量', '仕事の難しさ', and '身体的負担'. The '偏差値' (Deviation score) section includes a legend: 35.0未満 (red), 35.0以上40.0未満 (orange), 40.0以上45.0未満 (yellow), 45.0以上60.0未満 (light green), 60.0以上 (dark green). The comparison legend indicates: ▲ 前回値と比較して3ポイント以上上昇 (improved by 3 points or more), ▼ 前回値と比較して3ポイント以上下降 (worsened by 3 points or more), and ★ マークの因子は結果を表し、マークがないものは結果に影響を与える要因です (marked factors show results, unmarked factors are causes of results).

	1回目	2回目
ストレス反応 (★)	37.5	35.6 (-1.9)
仕事の量	47.0	▲ 51.2 (4.2)
仕事の難しさ	33.7	▲ 47.8 (14.1)
身体的負担	58.2	▼ 46.4 (-11.8)

2. レポート

2. 調査結果の種類

1 偏差値で結果を見るレポート (p9参照)

エンゲージメント調査

メンタルタフネス度調査

メンタルヘルス調査

メンタリティマネジメント調査

調査項目ごとに、偏差値で結果を確認します。

偏差値では、**数値は高いほど良い結果、低いほど課題あり**と読みます。



偏差値50 (標準) :

アドバンテッジリスクマネジメントの顧客の平均値 (ストレスチェックデータ)

2 回答内容を見るレポート (p14参照)

ハラスメント調査

生活習慣に関する調査

独自調査

健康と仕事のパフォーマンスに関する調査

生産性に関する調査 (東大1項目版)

調査の設問に対する回答内容を確認します。

設問 [すべてを開く](#) [すべてを閉じる](#)

設問 上司から嫌がらせをされたことがある。

回答 あまり当てはまらない

設問 上司から人格を否定するような発言をされたことがある。

回答 あまり当てはまらない

設問 同僚から嫌がらせをされたことがある。

回答 まあまあ当てはまる

3. 偏差値で結果を見るレポート

エンゲージメント調査

メンタルタフネス度調査

メンタルヘルス調査

メンタリティマネジメント調査



エンゲージメント調査 (フル設問+アンケート)

デモ 従業員1

印刷

実施回

2回目 2024/12/13 ~ 2024/12/13

実施回の選択

選択した実施回の結果に表示が切り替わります。

良好因子	重要な課題	重要な変化	
偏差値60以上 10 因子	偏差値40未満 -	改善した 10 因子	悪化した 2 因子

良好因子、重要な課題・変化について (p10参照)

因子 [すべてを開く](#) [すべてを閉じる](#)

表示方法:

偏差値

偏差値推移

偏差値

■ 35.0未満 ■ 35.0以上40.0未満 ■ 40.0以上45.0未満 □ 45.0以上60.0未満 ■ 60.0以上
▲ 前回値と比較して3ポイント以上上昇 ▼ 前回値と比較して3ポイント以上下降
★マークの因子は結果を表し、マークがないものは結果に影響を与える要因です。

	1回目	2回目	3回目	4回目	5回目	6回目
ワークエンゲージメント(★)	46.2	▼ 42.2 (-4.0)	42.2	▲ 46.2 (+4.0)	降順	▲ 60.2 (+14.0)
エンプロイヤーエンゲージメント(★)	42.2	▼ 34.2 (-8.0)	▲ 38.2 (+4.0)	▲ 46.2 (+4.0)	昇順	▲ 46.2 (+4.0)
会社との適合感	34.2	▲ 38.2 (+4.0)	▲ 42.2 (+4.0)	▲ 46.2 (+4.0)	クリア	▲ 60.2 (+14.0)

因子の結果詳細について (p11-13参照)

3-1. 良好因子、重要な課題・変化

エンゲージメント調査

メンタルタフネス度調査

メンタルヘルス調査

メンタリティマネジメント調査



選択した実施回について、良好な結果の因子、要注意な結果の因子、偏差値に変化があった因子など、因子ごとの結果の概要を把握できます。



良好因子
偏差値60以上の因子の数を表示します。

重要な課題
偏差値40未満の因子の数を表示します。

重要な変化
前回調査から結果が
「改善した（偏差値が3ポイント以上上昇）」
「悪化した（偏差値が3ポイント以上下降）」
因子の数を表示します。

3-2. 因子の結果詳細

エンゲージメント調査

メンタルタフネス度調査

メンタルヘルス調査

メンタリティマネジメント調査



表示方法

結果の表示方法を、2つの表示方法から選択できます。
偏差値について ([p12](#)参照)
偏差値推移について ([p13](#)参照)

調査回ごとに
表示順を切り替える
ことができます。
※偏差値の表示のみ

5回目 ▼

降順

昇順

クリア

因子 [すべてを開く](#) [すべてを閉じる](#)

表示方法: 偏差値 偏差値推移

クリックすると、
各因子の結果の表示が切り替わります。

ワークエンゲージメント(★)

エンプロイヤーエンゲージメント(★)

会社との適合感

偏差値 ?

■ 35.0未満 ■ 35.0以上40.0未満 ▲ 前回値と比較して3ポイント以上増加 ▼ 前回値と比較して3ポイント以上減少

★マークの因子は結果を表し、マークがないものは結果を算出していない因子です。影響を与える要因です。

	1回目 ▼	2回目 ▼	3回目 ▼	4回目 ▼	5回目 ▼	6回目 ▼
ワークエンゲージメント(★)	46.2	▼ 42.2 (-4.0)	42.2	▲ 46.2 (+4.0)	46.2	▲ 60.2 (+14.0)
エンプロイヤーエンゲージメント(★)	42.2	▼ 34.2 (-8.0)	▲ 38.2 (+4.0)	▲ 46.2 (+4.0)	▼ 42.2 (-4.0)	▲ 46.2 (+4.0)
会社との適合感	34.2	▲ 38.2 (+4.0)	▲ 42.2 (+4.0)	▲ 46.2 (+4.0)	▲ 60.2 (+14.0)	60.2

3-2. 因子の結果詳細

エンゲージメント調査

メンタルタフネス度調査

メンタルヘルス調査

メンタリティマネジメント調査



偏差値 偏差値の結果を表示します。

因子 [すべてを開く](#) [すべてを閉じる](#)

表示方法: **偏差値** 偏差値推移

偏差値 ②

- 35.0未満 ■ 35.0以上40.0未満 ■ 40.0以上45.0未満 □ 45.0以上60.0未満 ■ 60.0以上
- ▲ 前回値と比較して3ポイント以上上昇 ▼ 前回値と比較して3ポイント以上下降
- ★マークの因子は結果を表し、マークがないものは結果に影響を与える要因です。

	1回目 ▼	2回目 ▼	3回目 ▼	4回目 ▼	5回目 ▼	6回目 ▼
ワークエンゲージメント(★)	46.2	▼42.2 (-4.0)	42.2	▲46.2 (+4.0)	46.2	▲60.2 (+14.0)
エンプロイエンゲージメント(★)	42.2	▼34.2 (-8.0)	▲38.2 (+4.0)	▲46.2 (+4.0)	▼42.2 (-4.0)	▲46.2 (+4.0)
会社との適合感	34.2	▲38.2 (+4.0)	▲42.2 (+4.0)	▲46.2 (+4.0)	▲60.2 (+14.0)	60.2

各因子の結果を、背景色やマークで分類しています。

💡 キホンの読み方

各因子の偏差値の値が
高いほど 課題が少ない (青 ■)
低いほど 課題あり (ピンク ■)
を表しています。

2回目調査以降、前回から数値が**3pt以上変化**があった因子には、▼▲が表示されます。

クリックすると、因子の説明、設問および回答が表示されます。

値が高いほど、自分のキャリア構想と会社の方向性が合っていると感じている

設問 今の会社の方針（経営、事業内容など）は、自分の方向性（どうありたいか、どうしていきたいか）と一致している。

回答 全く当てはまらない

設問 今の会社であれば、自分の今後の見通し（スキルアップ、キャリアアップなど）が立てられる。

回答 あまり当てはまらない

3-2. 因子の結果詳細

エンゲージメント調査

メンタルタフネス度調査

メンタルヘルス調査

メンタリティマネジメント調査

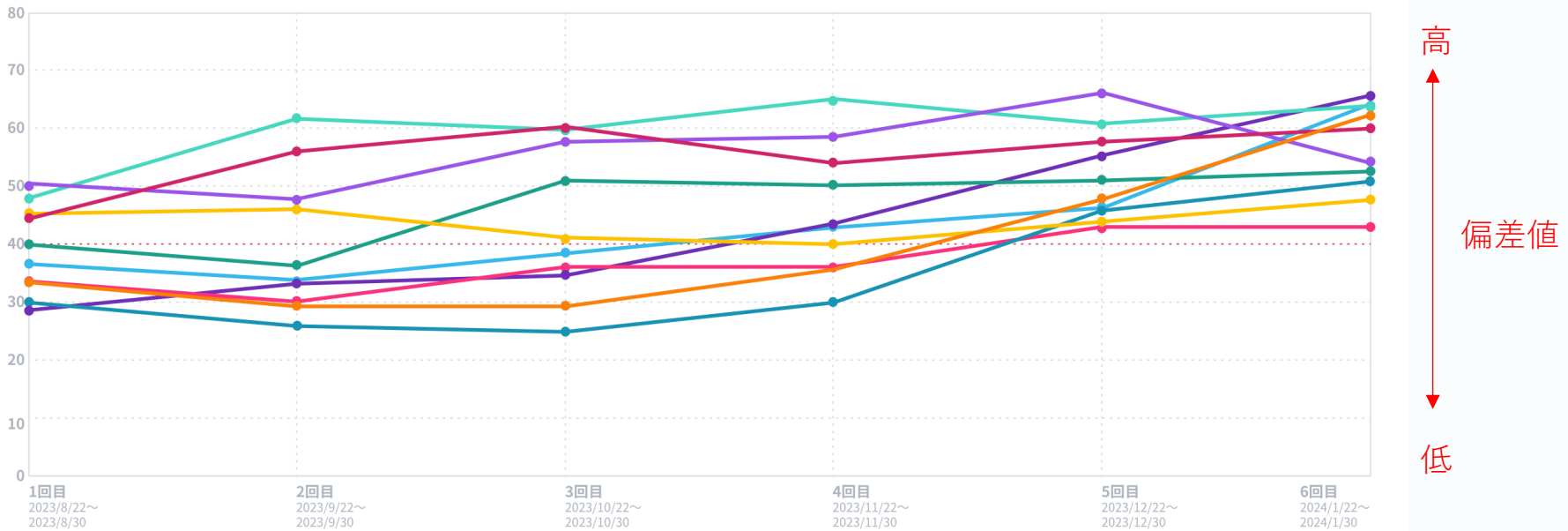


偏差値推移 調査回間の偏差値の推移を表示します。

因子 すべてを開く すべてを閉じる

表示方法:

※集計不可の回は非表示です。



💡 キホンの読み方

偏差値が低い、著しく低下している因子を把握しましょう。

- 仕事への自信
- 強みの発揮
- 働きがい
- 対処できる思考
- 前向きに考え直す行動
- 問題解決行動
- 気分転換行動
- 相談行動
- 出来事を重く受け止める傾向
- あきらめ行動
- 感情的行動

因子の絞り込み

各因子をクリックすることで、グラフに表示する因子を絞り込んで表示します。特定の因子に絞って推移を追ったり、全因子を表示して全体の因子の推移を掴むことができます。

4. 回答内容を見るレポート

ハラスメント調査

生活習慣に関する調査

独自調査

健康と仕事のパフォーマンスに関する調査

生産性に関する調査 (東大1項目版)



各設問に対する回答が表示されます。

ハラスメント調査

デモ 従業員1

実施回

2回目 2024/12/13 ~ 2024/12/13

実施回を選択

クリックして実施回を選択すると、
選択した実施回の結果に表示が切り替わります。

印刷

設問 [すべてを開く](#) [すべてを閉じる](#)

設問 上司から嫌がらせをされたことがある。

回答 あまり当てはまらない

設問 上司から人格を否定するような発言をされたことがある。

回答 あまり当てはまらない

設問 同僚から嫌がらせをされたことがある。

回答 まあまあ当てはまる

設問と回答

各設問に対する回答を表示します。

